

第16回日本成人先天性心疾患学会

The 16th Annual Meeting of Japanese Society for Adult Congenital Heart Disease

大会長 佐野俊二 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 心臓血管外科学)

Shuji Sano (Department of Cardiovascular Surgery, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences)

心臓血管外科学教室では佐野俊二教授会長主催のもと平成26年1月11日、12日の両日、岡山コンベンションセンターにて第16回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会を開催いたしました。1998年に日本成人先天性心疾患研究会として発足した本会は、2011年より日本成人先天性心疾患学会となり、年ごとに会員数が増加し学術集会も活発となり今回、岡山での開催を迎えました。

この学会の特色としては、先天性心疾患の治療が本邦で本格化してから20年以上となり、特に複雑心奇形外科治療成績の進歩は目覚ましいものがあります。そのような時代の変遷の中で、発症や治療開始時に乳幼児であった子供たちも成人し生命予後の改善は得られたものの、再手術や遠隔期での合併症も散見されるようになりました。この数年、「成人先天性心疾患」は国内の循環器関連学会で繰り返し主要テーマとして取り上げられ、その診療体系と体制構築が大きな課題となっています。今回の学会でも、それぞれの施設、地域での取り組みをどのように国内の診療体制構築に生かしていくのかの討議が行われました。

さらに今回の学術集会では、成人先天性心疾患の問



題の中でも特に Fontan 手術後の遠隔期の問題点、いわゆる“Failed Fontan”について集中的にディスカッションを行いました。Failed Fontan の病態生理だけにとどまらず、その治療戦略について広範囲に最新の知見が発表され有意義な討論も行われました。特に今回は世界から多くの先駆的リーダーを招請し講演いただきました。その一覧は下の通りです。

1. Clare O'Donnell

Green Lane Paediatric and Congenital Cardiac service, Starship Childrens and Auckland City hospital, Auckland, New Zealand

2. Asif Hasan

Paediatric Cardiac Surgery, Freeman Hospital, Newcastle upon Tyne

3. Jamil Aboulhosn

Ahmanson/UCLA Adult Congenital Heart Disease Center UCLA Division of Cardiology

4. Hong Ju Shin

Department of Cardiovascular Surgery, Department of Pediatric Cardiology, Yonsei University College of Medicine, Seoul, Korea

5. Jae Kon Ko

Division of Pediatric Cardiology, Department of Pediatrics Asan Medical Center, University of Ulsan

平成26年5月受理

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

電話：086-235-7357 FAX：086-235-7359

E-mail：arais@md.okayama-u.ac.jp



College of Medicine, Seoul, Korea

6. Jou-Kou Wang

National Taiwan University Hospital

7. Lucy Eun

Severance Cardiovascular Hospital, Yonsei University
Health System, Seoul, Korea

8. Mei-Hwan Wu

Department of Pediatrics, National Taiwan University
Hospital, Taipei, Taiwan

9. Seong-Ho Kim

Department of Pediatrics, Sejong General Hospital/
Sejong Heart Institute

10. Seung Woo Park

Cardiac and Vascular Center, Samsung Medical
Center, Seoul, Korea

このように本学会史上最多の海外招請演者を迎えシンポジウムに講演にそして一般演題も含めて活発な討論が行われました。



さらに本学会の特色である教育セミナーも開催いたしました。これから日本で成人先天性心疾患の診療体制を構築していくには、小児循環器科・循環器内科・心臓外科に留まらず、幅広い領域の皆さんに成人先天性心疾患というものを理解していくことが重要だと考え、今回の学術集会の中でも教育セッションを数多く企画し、参加していただいた皆様に少しでも多くの新しい知識と情報を伝えることができました。

これらの企画を含め今回の学会では招請講演5題、シンポジウム5セッション28題、一般口演51題、ポスター発表43題、共催セミナー4セッション、市民公開講座5題が発表されました。また岡山大学手術室見学ツアーも好評のうちに終わりました。

これらにより学会期間中、有料参加者339名、招待参加者61名と400名を超える参加があり本学会史上に残る盛会のうちに終わることができました。

この場を借りて、学会に参加いただいた皆様、ご支援いただいた皆様、お礼を申し上げます。

(新井禎彦 記)